

がんばろう 南三陸町 復興第76号

南三陸マイタウン月刊情報

発行所
千葉総合印刷株式会社
本吉郡南三陸町志津川字沼田 150-84
TEL(46) 3069 FAX(46)3068
企画・編集
志津川広報センター



南三陸町産業フェア

2回の景品付き「餅まき」
に来場者の笑顔が広がった。

10月28日(日)にアリーナ駐車場を会場に開催され、ステージの古川高校吹奏楽部の演奏とパフォーマンスに来場者は

釘づけとなっていた。山形県庄内のコーナーでは、地場産の焼き肉に行列ができていた。また、歌津漁協のテントの「ワカメつめ放題」には来場者が大勢集まっていた。横山からの来場者は「南三陸のワカメを沢山つめました」と話していた。その他にも「無料けんちん汁」やカキ・ホタテ焼など、南三陸の産品を販売していた。恒例の2回の「餅まき」にも多くの来場者で賑わった。老いも若きも祝い餅を追った。

中体連新人戦の結果

【バスケットボール】男子

〔予選B〕志津川 89 - 5 鹿折
志津川 75 - 23 面瀬
◇準決勝 志津川 95 - 18 気仙沼
▷決勝 志津川 88 - 38 南
志津川県大会へ

女子〔1回戦〕志津川 95 - 16 唐桑

◇準々決勝 志津川 68 - 25 新月
◇準決勝 志津川 74 - 18 面瀬
▷決勝 志津川 69 - 34 南
志津川県大会へ

【剣道】男子

〔団体〕歌津 3 - 0 志津川
歌津 4 - 0 唐桑
歌津県大会へ

〔個人〕2年①三浦誠矢(志津川) 県大会へ
1年①小野陽輝(歌津) 県大会へ

女子

〔個人〕①三浦愛可(歌津) ②畠山七海(歌津)
以上県大会へ

輝き劇団の演技に会場からの拍手と笑い



10月カレンダー

認知症の会話と対策

我が家は耳の遠くなった父との会話に苦慮している。まだ認知症とはなっていないが、通常の会話がままならない。「病院の日」や「家庭の用事」など、聞こえなかったり忘れていたりする親に、つつい強い口調で言ってしまう、会話も少なくなっている現状で、劇団の寸劇に通じるものがあった。寸劇では、年をとった母が何度も「デイサー

ビス何時」と聞く、嫁は「明後日」と答える。10分するとまた「いずっしや。」と母はまた聴きに来る。嫁は「何回言ったわがっべ。」「ほんとうにやんたぐなっこだ。」と言うと、みさこばあちゃんは落ち込んでしまった。こんな時は、輝きサポーターの認知者への対応例として、嫁は「明後日の火曜日だよ。」また母が聴きに来た時に「明後日ですよ」と、カレンダーでデイサービスの日を説明した。母は「これだと解りやすいな。」と母は言うてくれた。

この問題点として、「もの忘れに対して何度も同じ事を言う」「母は毎回初めて聞いている」「本人は混乱している」。こうした混乱や心配を聴いてやることで、「目で見て確認してもらおう。穏やかな気持ちで生活できる。」と、この一部の寸劇は言っている。私も反省し、今日から実践してみようと感じた。

ツルハ出店説明会

11月16日アリーナ会議室で、ツルハグループ開発部の出店説明会が開かれた。完成予定を31年5月29日とし、2302㎡に「ツルハ」と別棟に他店舗が入る。国道45号のアップルタウンの隣りに駐車場100台を整備しオープンするとの内容だった。



未来への教訓

復興！ 大津波の記憶を風化させない

平成30年(2018年) 8月の出来事
～地元報道より～

南三陸町

◆南三陸町志津川魚市場で、ミズダコが大不漁。昨年の3分の1しか水揚げされておらず、キロ当たりの単価は昨年の2倍になっている。

県の魅力ある県立高校づくり支援事業を活用し、「志高希望の架け橋プロジェクト会議」が30日発足。同窓会やPTA、県、町、町内の小中学校、事業所、民間団体など16人の委員で構成した。

◆南三陸町志津川サンオーレそではまの、海水浴場の入り込数が昨年の実績を超えた。好天が続いたこと、音楽や食などをテーマにした週末のイベントでの誘客が増加につながっているようだ。

南三陸病院の櫻田医院長が7月31日付で退職する。町は後任の人選を進めている。新しい院長に、初貝和明氏(50)が10月1日着任すると発表した。

◆南三陸町に米国と台湾の高校生が訪れた。米国からはカリフォルニア州グレンデール市の高校生23人が4泊5日の日程で来町し、台湾からは2月に大地震に見舞われた花蓮市の高校生3人が2泊3日で訪れた。地域に伝わる文化や東日本大震災で大きな被害を受けた町の様子に触れた。

東北大学と米国テキサス州にあるバイラー大学の学生が南三陸町を訪れた。東日本大震災の体験や復興への取り組みなどを聞き取るインタビューを収録し、SNSを通じて全世界に発信する。

◆西日本豪雨の被災地に向けて南三陸町が呼び掛け、7月20日までに6万8791円が寄せられた。日赤を通じて被災地に送られる。

東京都の演劇団体「ごきげん一家」の公演が4日南三陸町歌津の平成の森アリーナで開かれた。歌津地区に伝わる民話を題材にした劇で、笑いあり涙ありの劇に大きな拍手が沸いた。

◆南三陸町志津川のさんさん商店街の来場者が今月100万人を超えた。2017年3月の本設オープンから1年5ヶ月での記録。

吉野復興大臣が南三陸町を8日訪れ、被災地で活動を続ける団体に感謝状が贈られた。南三陸町関係団体は、南三陸ホテル観洋・ウィメンズアイ・佐良スタジオ・復興みなさん会・南三陸復興青年会・みやぎジョネット。

◆南三陸町議会東日本大震災対策特別委員会は、民間所有の「高野会館」の保存に関する請願について、賛成少数で不採択とすべきものとし、9月定例会に報告し最終結論を出す。

南三陸町は防災集団移転促進事業で整備した団地の空き区画(91区画)の、一般向け公募を9月7日まで行っている。

◆11日南三陸町歌津田の浦漁港で、海の大運動会がにぎやかに行われた。町内外から訪れた人たちが、ユニークな競技で交流を深めた。

東日本大震災で被災した南三陸町志津川の、志津川高校近くの水田で田んぼアートが見頃になった。廻館工区で農業を再開した営農組合が支援への感謝を込め、昨年からの田んぼアートに挑戦している。

◆東日本大震災の津波で全壊した南三陸消防署庁舎再建工事が始まる。完成は来年3月で、新庁舎は志津川新井田の志津川中央団地内の国道45号沿いに建設される。

社会人ラグビーの古豪・新日鉄釜石のOBらでつくるNPO法人スクラム釜石のメンバーが、17日自転車で南三陸町・気仙沼市を走り、被災地の復興と来年開かれるラグビーワールドカップ釜石開催の成功を願った。

◆南三陸町の地域おこし協力隊の活動報告が22日開かれた。取り組みへの理解と今後の活動推進につなげようとなされた。

南三陸町は、昨年9月明らかになった町税ミスなどについて、最終処理状況をまとめた。固定資産税、個人町県民税合わせて222件の追加徴収、449件の還付を行なった。

◆25日サンオーレそではま海水浴場で志津川湾かがり火まつり福興市が行なわれた。愛知県新城市の名物・三河手筒花火は、迫力ある火柱が町民を魅了した。

南三陸町歌津草木沢地内に整備される(仮称)歌津北ICの工事が、年度内開通予定に向けて進んでいる。仙台方面との行き来のみのハーフインターとなる。

◆南三陸町内に保管されている牧草と稲わらについて、土壌に混ぜて行う先行処理が予定よりずれ込む見通しになった(8月の時点)。大盤平のすき込みは9月に中止となった。

南三陸町志津川のサンオーレそではま海水浴場に、6万6千人を超える人たちが来場し、26日で今夏の営業を終えた。

◆30日南三陸町立志津川小学校の3年生が、志津川港に寄港した気仙沼沼津洋高校の小型実習船「シーラス」を見学。社会科の授業の一環で見学を訪れ、最新鋭の整備などに目を輝かせていた。

南三陸町は災害公営住宅の家賃低減事業について、現行通り入居6年目を以降は段階的に家賃を引き上げる。